

「認知症に関する世論調査」の概要

平成 27 年 10 月
内閣府政府広報室

| | |
|------|--|
| 調査対象 | 全国20歳以上の日本国籍を有する者 3,000人 有効回収数 1,682人（回収率 56.1%） |
| 調査時期 | 平成27年9月3日～9月13日（調査員による個別面接聴取） |
| 調査目的 | 認知症に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。 |
| 調査項目 | 認知症の人と接する機会の有無 認知症に対するイメージ 認知症になった場合の暮らし 認知症に対する不安（本人自身） 認知症に対する不安（家族） 国や自治体に求める認知症施策 |

<お願い>

本資料の内容を引用された場合、その掲載部分の写しを
下記宛にご送付ください。

内閣府大臣官房政府広報室
世論調査担当

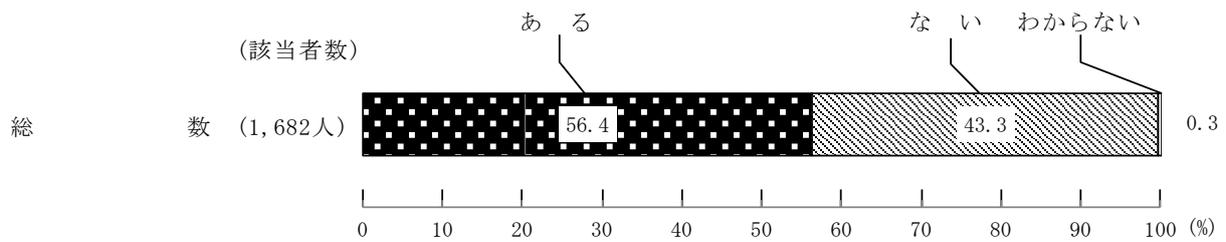
〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1
電話 03(3581)0070
FAX 03(3580)1186

1 認知症の人と接する機会の有無

(1) 認知症の人と接する機会の有無

問1 あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。それともありませんか。

- ・あ る 56.4%
- ・な い 43.3%



(ア) 認知症の人と接する機会

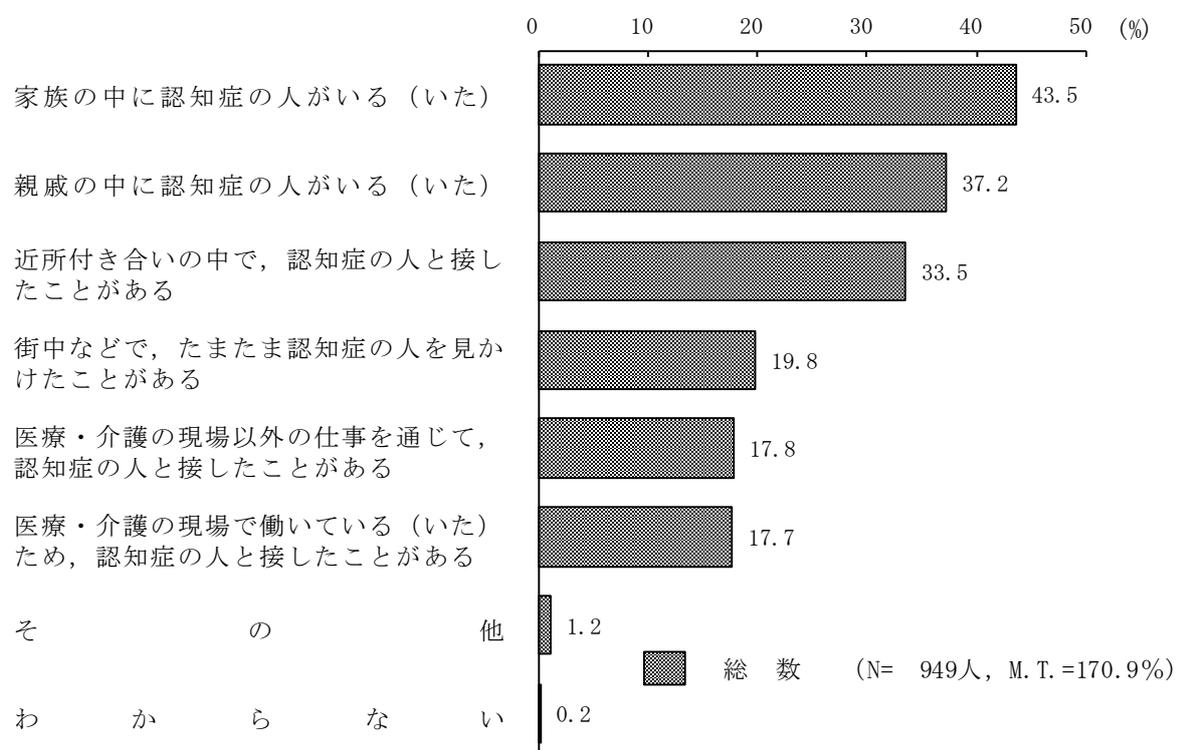
更問 (問1で「ある」と答えた方(949人)に)

経験したことがあるものをこの中からいくつでもあげてください。(複数回答)

(上位3項目)

- ・ 家族の中に認知症の人がいる (いた) 43.5%
- ・ 親戚の中に認知症の人がいる (いた) 37.2%
- ・ 近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある 33.5%

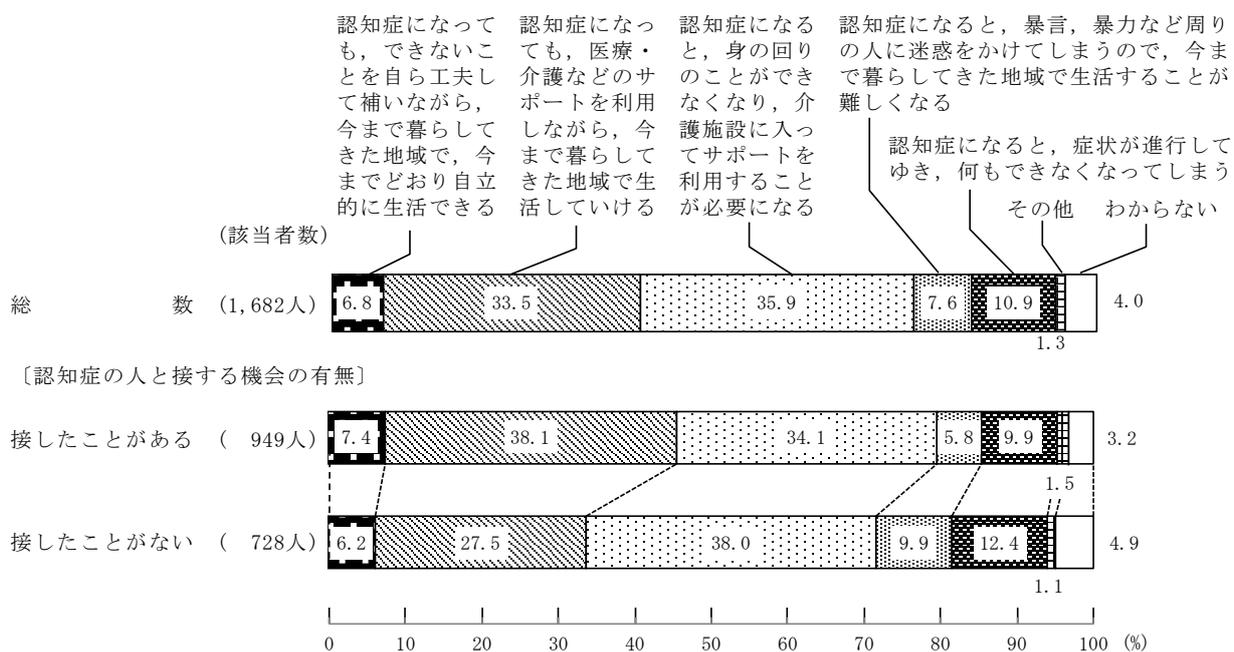
(今までに認知症の人と接したことが「ある」と答えた者に、複数回答)



2 認知症に対するイメージ

問2 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。
あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

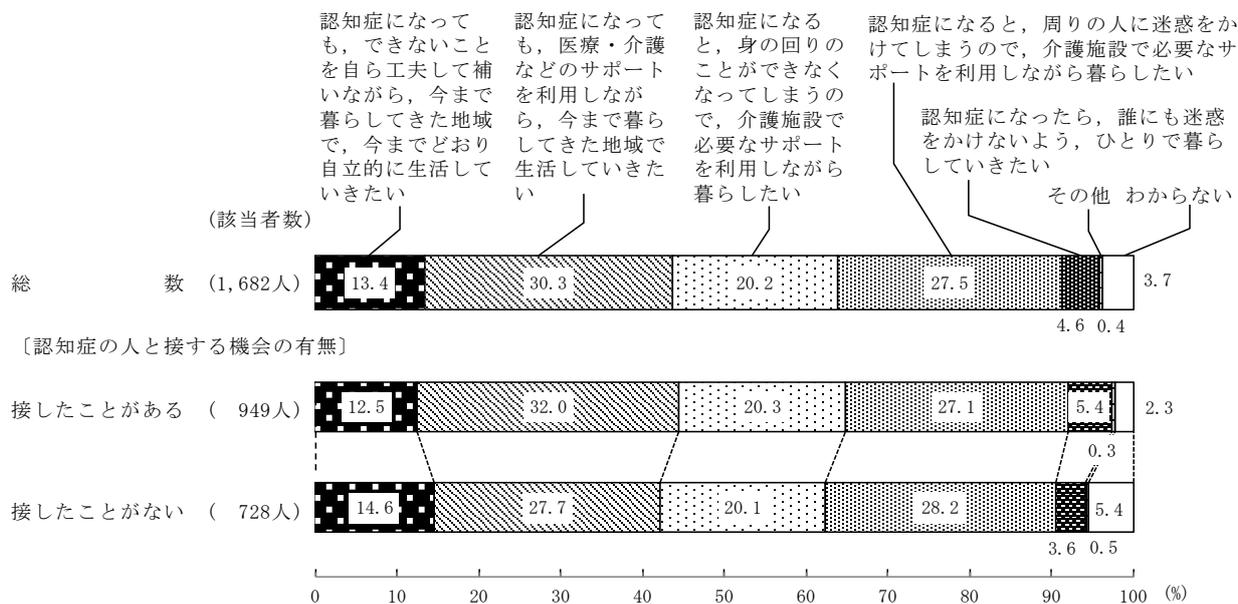
- ・ 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、
今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる 6.8%
- ・ 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、
今まで暮らしてきた地域で生活していける 33.5%
- ・ 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入って
サポートを利用することが必要になる 35.9%
- ・ 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、
今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる 7.6%
- ・ 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう 10.9%



3 認知症になった場合の暮らし

問3 もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。
あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

- ・ 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、
今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい 13.4%
- ・ 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、
今まで暮らしてきた地域で生活していきたい 30.3%
- ・ 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、
介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい 20.2%
- ・ 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、
介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい 27.5%
- ・ 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないように、ひとりで暮らしていきたい 4.6%



〔参考1〕 認知症に対するイメージ別認知症になったらどのように暮らしたいと思うか

| | 該 当 者 数 | 〔認知症になったら、どのように暮らしたいと思うか〕 | | | | | | |
|--|------------------|---|--|---|---|--|--|-------------|
| | | で、 今ま でど おり 自 立 的 に 生 活 し て い き た 地 域 で 、 今 ま で ど おり 自 立 的 に 生 活 し て い き た 地 域 で | 認 知 症 に な っ て も 、 で き な い こ と を 自 ら 工 夫 し て 補 い な が ら 、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で | 認 知 症 に な っ て も 、 医 療 ・ 介 護 な ど の サ ポ ー ト を 利 用 し な が ら 、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で | 認 知 症 に な っ て も 、 身 の 回 り の こ と が で き な く な り 、 介 護 施 設 に 入 っ て サ ポ ー ト を 利 用 す る こ と が 必 要 に な る | 認 知 症 に な っ て も 、 周 り の 人 に 迷 惑 を か け て し ま う の で 、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で | 認 知 症 に な っ たら 、 誰 に も 迷 惑 を か け な い よ | そ の 他 |
| | 人 | % | % | % | % | % | % | % |
| 総数 | 1,682 | 13.4 | 30.3 | 20.2 | 27.5 | 4.6 | 0.4 | 3.7 |
| 〔認知症に対するイメージ〕 | | | | | | | | |
| 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる | 115 | 45.2 | 25.2 | 8.7 | 12.2 | 5.2 | - | 3.5 |
| 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける | 563 | 14.0 | 46.9 | 14.9 | 19.5 | 3.2 | 0.2 | 1.2 |
| 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる | 603 | 8.6 | 22.2 | 27.5 | 36.3 | 3.6 | 0.2 | 1.5 |
| 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる | 127 | 11.8 | 15.0 | 26.8 | 35.4 | 7.1 | 1.6 | 2.4 |
| 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう | 184 | 10.3 | 21.7 | 19.0 | 33.2 | 10.3 | - | 5.4 |
| その他 | 22 | 13.6 | 40.9 | 4.5 | 18.2 | 4.5 | 13.6 | 4.5 |
| わからない | 68 | 7.4 | 20.6 | 13.2 | 13.2 | 2.9 | - | 42.6 |

〔参考2〕 認知症になったらどのように暮らしたいと思うか別認知症に対するイメージ

| 該当者数 | 〔 認 知 症 に 対 す る イ メ ー ジ 〕 | | | | | | | |
|--|---|---|--|--|---|---|--|-------------|
| | 域で、 今までも どおり 自立的 に生活 できる | 夫 補 い な が ら 、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で 生 活 し て い き た い | 認 知 症 に な っ て も 、 で き な い こ と を 自 ら 工 夫 し て 補 い な が ら 、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で 生 活 し て い き た い | た ポ ー ト を 利 用 し な が ら 、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で 生 活 し て い き た い | 認 知 症 に な っ て も 、 身 の 回 り の こ と が で き な く な り 、 介 護 施 設 に 入 っ て サ ポ ー ト を 利 用 す る こ と が 必 要 に な る | 認 知 症 に な っ て も 、 暴 言 、 暴 力 な ど 周 り の 人 に 迷 惑 を か け て し ま う の で 、 今 ま で 暮 ら し て き た 地 域 で 生 活 す る こ と が 難 し く な る | も 認 知 症 に な っ て も 、 症 状 が 進 行 し て ゆ き 、 何 も で き な く な っ て し ま う | そ の 他 |
| 総 数 | 1,682 | 6.8 | 33.5 | 35.9 | 7.6 | 10.9 | 1.3 | 4.0 |
| 〔 認知症になったら、どのように暮らしたいと思うか 〕 | | | | | | | | |
| 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までもどおり自立的に生活していきたい | 225 | 23.1 | 35.1 | 23.1 | 6.7 | 8.4 | 1.3 | 2.2 |
| 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい | 509 | 5.7 | 51.9 | 26.3 | 3.7 | 7.9 | 1.8 | 2.8 |
| 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい | 339 | 2.9 | 24.8 | 49.0 | 10.0 | 10.3 | 0.3 | 2.7 |
| 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい | 462 | 3.0 | 23.8 | 47.4 | 9.7 | 13.2 | 0.9 | 1.9 |
| 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないよう、ひとりで暮らしていきたい | 77 | 7.8 | 23.4 | 28.6 | 11.7 | 24.7 | 1.3 | 2.6 |
| そ の 他 | 7 | - | 14.3 | 14.3 | 28.6 | - | 42.9 | - |
| わ か ら な い | 63 | 6.3 | 11.1 | 14.3 | 4.8 | 15.9 | 1.6 | 46.0 |

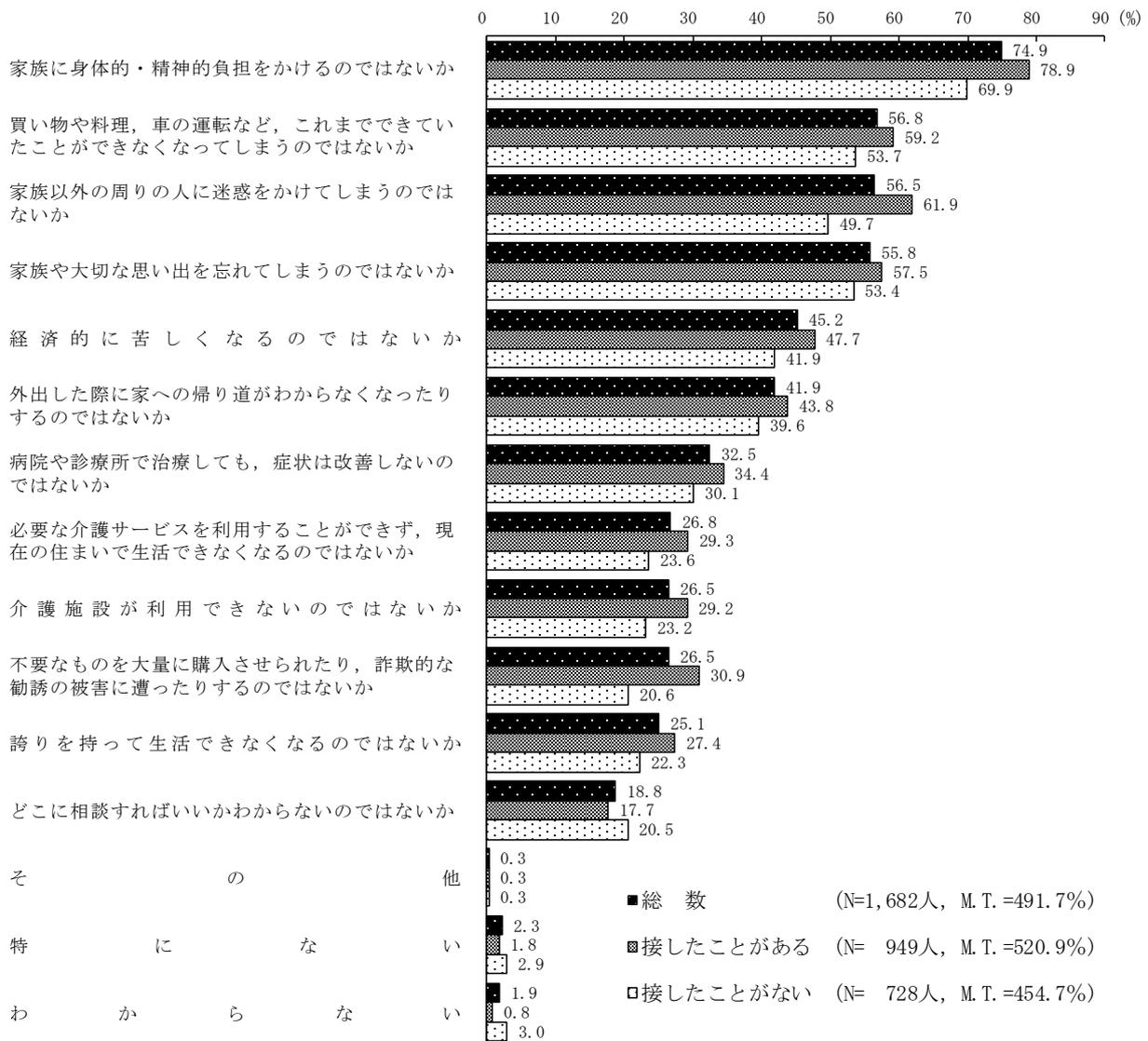
4 認知症に対する不安（本人自身）

問4 もし、あなたご自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安を感じるものをこの中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位4項目）

- ・ 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないかと 74.9%
- ・ 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと 56.8%
- ・ 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと 56.5%
- ・ 家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと 55.8%

（複数回答）



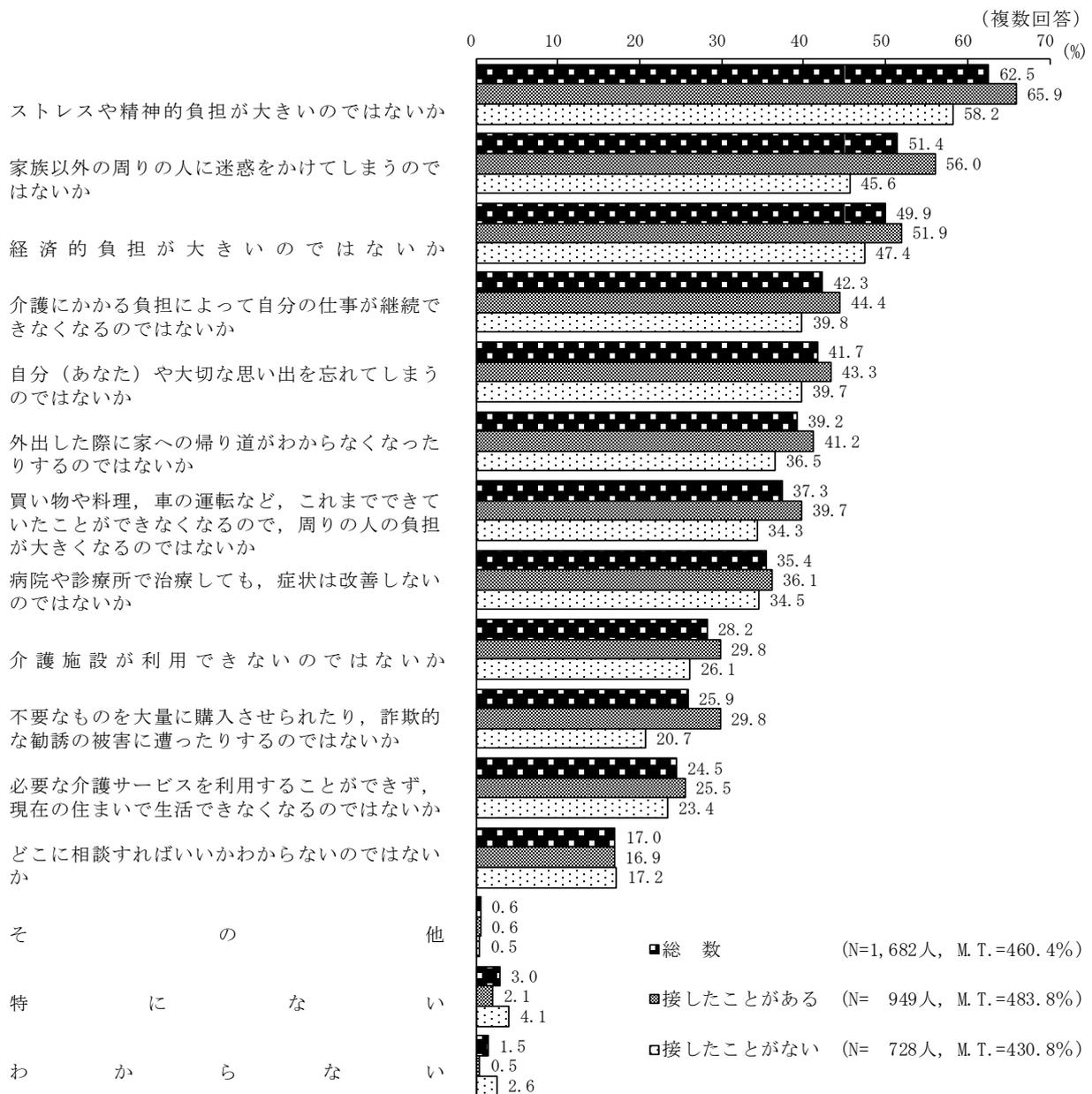
5 認知症に対する不安（家族）

問5 もし、あなたのご家族が認知症になったら、あなたはどのようなことに不安を感じるとお考えですか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。

（複数回答）

（上位3項目）

- ・ ストレスや精神的負担が大きいのではないかと 62.5%
- ・ 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないかと 51.4%
- ・ 経済的負担が大きいのではないかと 49.9%



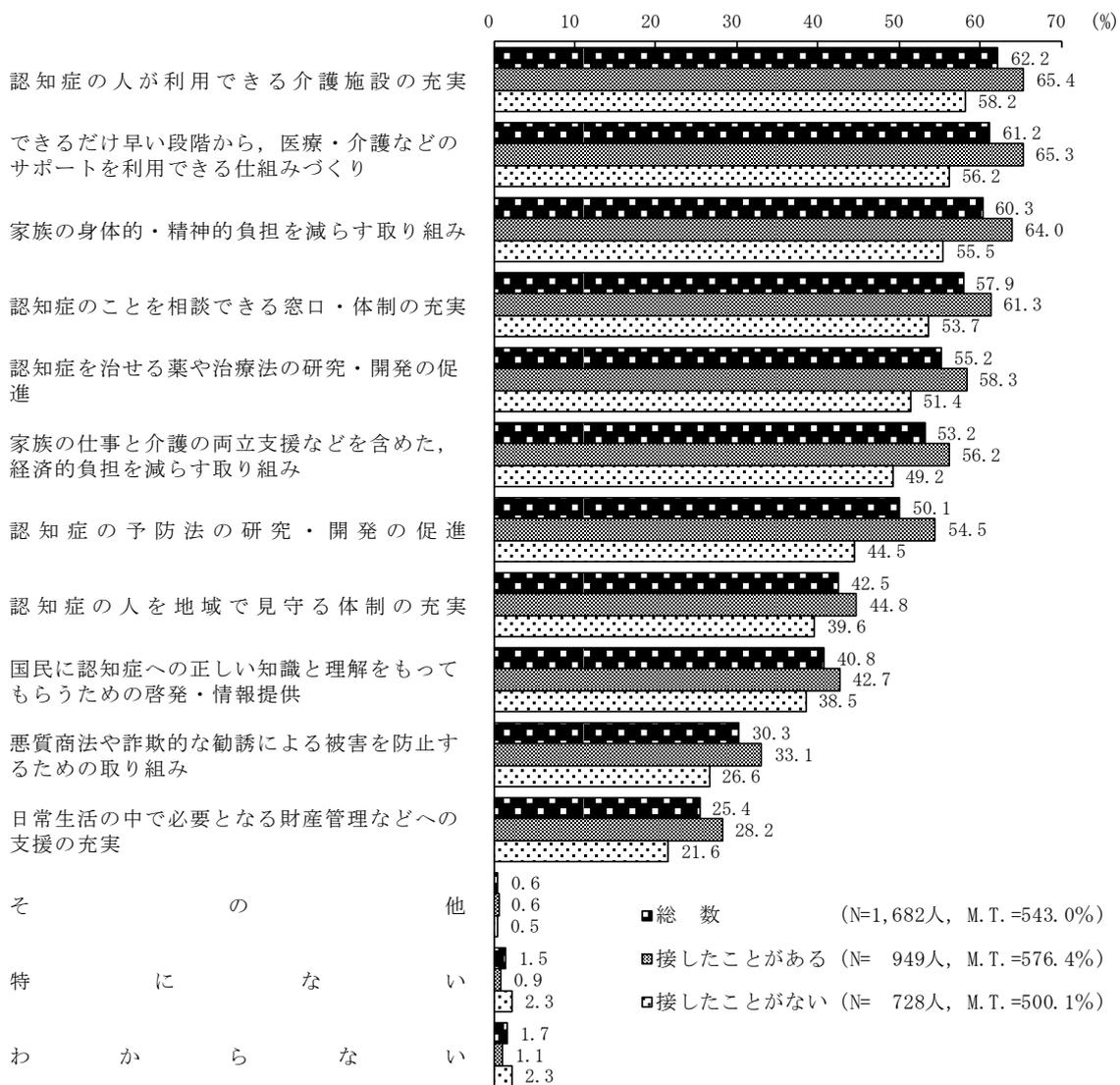
6 国や自治体に求める認知症施策

問6 認知症の人は現在の約500万人から、2025年には約700万人に増えることが見込まれています。今後、増加が予想される認知症の人への取り組みとして、国や自治体はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。特に重点を置くべきと思う施策をこの中からいくつかもあげてください。(複数回答)

(上位7項目)

- ・ 認知症の人が利用できる介護施設の充実 62.2%
- ・ できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり 61.2%
- ・ 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み 60.3%
- ・ 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実 57.9%
- ・ 認知症を治せる薬や治療法の研究・開発の促進 55.2%
- ・ 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み 53.2%
- ・ 認知症の予防法の研究・開発の促進 50.1%

(複数回答)



認知症に関する世論調査

平成 27 年 9 月

調査時期：平成 27 年 9 月 3 日から平成 27 年 9 月 13 日
調査対象：全国 20 歳以上の日本国籍を有する者 3,000 人
有効回収数（率）：1,682 人（56.1%）

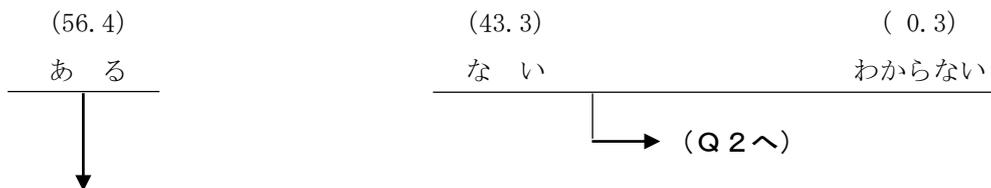
1. 認知症の人と接する機会の有無

【資料 1】を提示して、調査対象者によく読んでもらってから、以下の質問を行う。

【資料 1】 認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために今までできていたことができなくなり、一定期間継続して生活上の支障が出ている状態を指します。現在、65 歳以上の高齢者のうち、約 4 人に 1 人が認知症の人又はその予備群と言われています。

Q 1 あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。それともありませんか。

（注：ご自身が認知症であると言われた場合には、「ある」に○をする）



（Q 1 で「ある」と答えた方に）

S Q 【回答票 1】経験したことがあるものをこの中からいくつでもあげてください。（M. A.）

（注：ご自身が認知症であると言われた場合には、(ア)に○をする）

(N= 949)

- (43.5) (ア) 家族の中に認知症の人がいる (いた)
- (37.2) (イ) 親戚の中に認知症の人がいる (いた)
- (33.5) (ウ) 近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある
- (17.7) (エ) 医療・介護の現場で働いている (いた) ため、認知症の人と接したことがある
- (17.8) (オ) 医療・介護の現場以外の仕事を通じて、認知症の人と接したことがある
- (19.8) (カ) 街中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある
- (1.2) その他 ()
- (0.2) わからない

(M. T. =170.9)

2. 認知症に対するイメージ

(全員に)

Q 2 【回答票 2】あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

- (6.8) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる
- (33.5) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける
- (35.9) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる
- (7.6) (エ) 認知症になると、暴言、暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる
- (10.9) (オ) 認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
- (1.3) その他 ()
- (4.0) わからない

3. 認知症になった場合の暮らし

Q 3 【回答票 3】もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。

(注：既にご自身が認知症である場合には、「では、今後どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つだけお答えください。」と読み替える)

- (13.4) (ア) 認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい
- (30.3) (イ) 認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい
- (20.2) (ウ) 認知症になると、身の回りのことができなくなってしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
- (27.5) (エ) 認知症になると、周りの人に迷惑をかけてしまうので、介護施設で必要なサポートを利用しながら暮らしたい
- (4.6) (オ) 認知症になったら、誰にも迷惑をかけないように、ひとりで暮らしていきたい
- (0.4) その他 ()
- (3.7) わからない

4. 認知症に対する不安（本人自身）

Q 4 【回答票 4】もし、あなたご自身が認知症になったとしたら、どのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安とを感じるものをこの中からいくつでもあげてください。(M. A.)

(注：既にご自身が認知症である場合には、「では、どのようなことに不安を感じていますか。特に不安とを感じるものをこの中からいくつでもあげてください。」と読み替える)

- (55.8) (ア) 家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- (56.8) (イ) 買い物や料理, 車の運転など, これまでできていたことができなくなってしまうのではないか
- (25.1) (ウ) 誇りを持って生活できなくなるのではないか
- (32.5) (エ) 病院や診療所で治療しても, 症状は改善しないのではないか
- (18.8) (オ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
- (74.9) (カ) 家族に身体的・精神的負担をかけるのではないか
- (45.2) (キ) 経済的に苦しくなるのではないか
- (26.8) (ク) 必要な介護サービスを利用することができず, 現在の住まいで生活できなくなるのではないか
- (26.5) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
- (41.9) (コ) 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
- (26.5) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり, 詐欺的な勧誘の被害に遭^あったりするのではないか
- (56.5) (シ) 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- (0.3) その他 ()
- (2.3) 特にない
- (1.9) わからない

(M. T. =491. 7)

5. 認知症に対する不安（家族）

Q 5 【回答票5】もし、あなたのご家族が認知症になったとしたら、あなたはどのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。

(M. A.)

(注：既にご家族に認知症の方がいる場合には、「では、ご家族の認知症について、あなたはどのようなことに不安を感じていますか。特に不安と感じるものをこの中からいくつでもあげてください。」と読み替える)

- (41.7) (ア) 自分（あなた）や大切な思い出を忘れてしまうのではないか
- (37.3) (イ) 買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなるので、周りの人の負担が大きくなるのではないか
- (35.4) (ウ) 病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか
- (17.0) (エ) どこに相談すればいいかわからないのではないか
- (62.5) (オ) ストレスや精神的負担が大きいのではないか
- (49.9) (カ) 経済的負担が大きいのではないか
- (42.3) (キ) 介護にかかる負担によって自分の仕事が継続できなくなるのではないか
- (24.5) (ク) 必要な介護サービスを利用することができず、現在の住まいで生活できなくなるのではないか
- (28.2) (ケ) 介護施設が利用できないのではないか
- (39.2) (コ) 外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか
- (25.9) (サ) 不要なものを大量に購入させられたり、詐欺的な勧誘の被害に遭^あったりするのではないか
- (51.4) (シ) 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまうのではないか
- (0.6) その他 ()
- (3.0) 特にない
- (1.5) わからない

(M. T. =460. 4)

6. 国や自治体に求める認知症施策

Q 6 【回答票 6】 認知症の人は現在の約 500 万人から、2025 年には約 700 万人に増えることが見込まれています。今後、増加が予想される認知症の人への取り組みとして、国や自治体はどのような施策に重点を置くべきだと思いますか。特に重点を置くべきと思う施策をこの中からいくつかもあげてください。(M. A.)

- (40.8) (ア) 国民に認知症への正しい知識と理解をもってもらうための啓発・情報提供
- (57.9) (イ) 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
- (61.2) (ウ) できるだけ早い段階から、医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
- (60.3) (エ) 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み
- (53.2) (オ) 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた、経済的負担を減らす取り組み
- (42.5) (カ) 認知症の人を地域で見守る体制の充実
- (25.4) (キ) 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実
- (30.3) (ク) 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み
- (62.2) (ケ) 認知症の人が利用できる介護施設の充実
- (50.1) (コ) 認知症の予防法の研究・開発の促進
- (55.2) (サ) 認知症を治せる薬や治療法の研究・開発の促進
- (0.6) その他 ()
- (1.5) 特にない
- (1.7) わからない

(M. T. =543. 0)